「トライやる・ウィーク」とは

―背景・はじまり―

平成７年（1995年）１月の阪神・淡路大震災や平成９年（1997年）に神戸市須磨区で起きた凄惨な事件を受け、「心の教育」の充実を図るために平成10年（1998年）から始まりました。

多様な社会体験活動を通して子どもたちが自ら体得する場や機会を提供し、一人ひとりが自分なりの生き方を見つけられるように支援するものです。

―目的―

学校だけでなく家庭を含めた地域社会が生徒の多様な個性をかけがえのないものとして認め、豊かな感性や創造性、主体性などを育成することを目指しています。

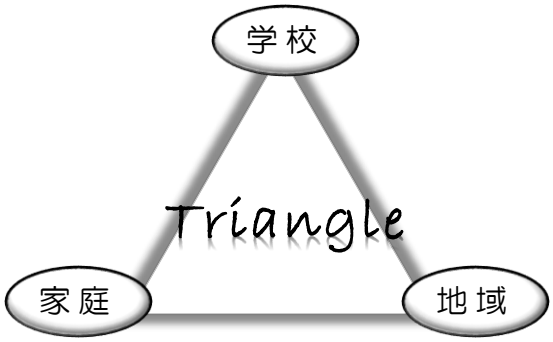
生徒が地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育んだり自律性を高めたりするなど、「生きる力」の育成を図っていきます。

また、社会での自らの役割や将来の生き方・働き方等を考える機会として位置付け、生徒のキャリア発達を支援します。

―名称の意味―

「挑戦する：トライ」と「学校・家庭・地域の三者：トライアングル」の意味が込められています。

三者が連携し、生徒の挑戦を支援していきたいと考えています。



生徒が体験活動をする場所の提供と指導ボランティアを募集しています

生徒を受け入れてくださる企業・商店・事業所・施設等の提供や指導ボランティアをしていただける方がございましたら、次の連絡先まで電話または、ＦＡＸでお知らせください。ご協力をお願いいたします。

連絡・お問合せ先

◇西脇市教育委員会　学校教育課　☎ 22-3111 FAX 23-8844
◇西脇中学校　☎ 22-2725 FAX 22-2726
◇西脇東中学校　☎ 22-3905 FAX 22-5020
◇西脇南中学校　☎ 22-3553 FAX 22-3554
◇黒田庄中学校　☎ 28-2072 FAX 28-4123

令和８年度（2026 年度）

地域に学んで29年

トライやる・

中学生体験活動週間

ウィーク

西脇市教育委員会

中学２年生のあなたへ

あなたは、「トライやる・ウィーク」でどんなことがしたいですか？将来やってみたい仕事や関心のあること、普段できないことなどに、目標を持って“トライ”しましょう。
あなたが選んだ体験活動が自分の成長だけにとどまらず、地域の方たちや家族との交流、喜びにまで広がるかもしれません。この体験が充実したものとなり、あなた自身のこれからの生き方について考えるきっかけの一つになることを願っています。

◇どんなことをするの？
自宅から自分が選んだ事業所へ通い、その事業所ならではの体験活動をします。
事業所で活動ができない時は、別の社会体験活動を行います。

◇わたしたちだけでするの？
みなさんの活動場所にいらっしゃる**指導ボランティア**が、指導や支援に当たってくださいます。

地場産業に挑戦してみたい

飲食店で調理をしてみたい

接客の仕事をしてみたい

どんな自分になりたい？

自動車の整備をしてみたい

幼児とふれあいたい

お店の裏方業務を体験したい

保護者・家庭の皆様へ

●将来の社会的自立に向けたキャリア形成

生徒にとって、「トライやる・ウィーク」は将来の夢を育むだけでなく、これからの生き方や社会とのつながり方を考える機会でもあります。
体験先の選択、人との接し方や社会でのマナーを学ぶ中で、地域社会における自らの役割や責任について自覚し、自立に向けた一歩を踏み出していきます。仕事に打ち込む大人の姿や社会の厳しさを間近で感じた生徒が改めて抱く「親への感謝の気持ち」は、他者への思いやりを膨らませ、自分自身の在り方・生き方を考えるきっかけになるはずです。
活動期間中とその前後も含め、ご家庭でもお子さんと話す場を積極的に持っていただきたいと思います。
あたたかく見守り、ご支援くださいますようお願いいたします。

地域・事業所の皆様へ

●地域の子どもを地域で育てる

過去28年間、「トライやる・ウィーク」を体験した中学２年生は、社会・地域の一員として役立ったという喜び、働くことの尊さや厳しさ、お客さんや地域の方々とふれあうことの喜びや充実感など、色々なことを学ばせていただきました。子どもたちは、この体験を将来の生き方について考える機会としています。事前・事後指導を含めて大変お世話になりますが、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、学校及び家庭と連携し、中学生にご指導・ご支援をお願いいたします。
また、地域に活かす「トライやる」アクションでは、中学１～３年生の生徒たちが休日の地域行事等に参画させていただきます。貴重な社会体験を通じて、地域との豊かな交流を図ることができています。今年も活動場所のご提供をよろしくお願いいたします。

●「食」について考える≪マイ弁当づくり≫

西脇市では、例年トライやる・ウィーク期間中に自分で弁当を作って持っていく≪マイ弁当づくり≫に取り組んでいます。自分で弁当を作ることで、食に対する興味や感謝の心や生きる力を養います。「何か料理を作るだけでも大変なのに栄養を考えたりいろどり・味などをよくしたりしないといけないので、毎日料理をする人すごいなと思いました。」「お弁当作りにあたって、料理が苦手な僕は作れるかとても心配でしたがお母さんの言ったとおりにやることで、作り方や彩りをきちんと考えることができました。」などの声が寄せられました。